

## ○題材の目標及び評価規準の設定

音楽科の場合、題材の目標を、次のように設定します。

- (1)の「知識及び技能」の目標については、基本的に指導事項の文末を「～について理解するとともに～身に付ける」として示す。
- (2)「思考力、判断力、表現力等」の目標については、指導事項の内容に応じて、それぞれの具体的内容に置き換え、文末を「～する」として示す。
- (3)「学びに向かう力、人間性等」の目標については、当該学年の目標(3)を参考にし、必要に応じて学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて示す。

題材の評価規準は、次のように設定します。

- ◆「知識・技能」は、「知識及び技能」の指導事項の文末を「～している」とする。
- ◆「思考・判断・表現」は、「評価の観点の趣旨」を踏まえ、児童生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択し「(音楽を形づくっている要素)を知覚し、」と示し、文末を「～している」とする。
- ◆「主体的に学習に取り組む態度」は、「評価の観点の趣旨」をそのまま設定する。文頭部分には、その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりするために必要となる、取り扱う教材曲の特徴や学習内容など、児童生徒に興味・関心をもたせたい事柄を示す。

## ★「題材を通した学習課題」のポイント

- 子供たちが題材を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか
- 見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか
- 子供たちと共有できる表現ですか
- 題材のゴールの姿に迫るものですか

歌唱共通教材の表現の工夫に取り組むことを通して、我が国で長く歌われている歌曲のよさに触れ、魅力を味わうことをねらって、書き表した例

- ㊦「～の」に、学習内容や指導事項に関する言葉を示しています。
- ㊧「～しよう」に、学習活動を設定しています。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、題材を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、題材を構想しましょう。

## 中学校第3学年 音楽科 学習構想案

### 1 題材構想

題材名	歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう (教材:「荒城の月」「早春賦」)		
題材の目標	(1)「荒城の月」,「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (2)「荒城の月」,「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 (3)「荒城の月」,「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。		

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①「荒城の月」,「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	①「荒城の月」,「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	①「荒城の月」,「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

題材終了時の生徒の姿(題材のゴールの姿・期待される姿)

㊦これから出会う日本の曲についても魅力を味わい、工夫して表現しようとする生徒。

題材を通した学習課題

㊦ 我が国で長く歌われている歌曲の魅力を味わおう。

本題材で働かせる見方・考え方  
音楽に対する感性を働かせ、歌詞、リズム、速度、旋律、強弱等とそれらの働きの視点で捉え、自己のイメージや感情などと関連付けること。

指導計画と評価計画(4時間取扱い ※本時3/4)

時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「荒城の月」,「早春賦」の歌詞を音読したり、歌ったりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などを学習シートに記入する。</li> <li>○ 二つの曲を歌い比べながら、それぞれの音楽について気付いた特徴をワークシートに書く。</li> </ul>	【態①】ワークシートの記述・観察
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「荒城の月」を歌ったり、CDを聴いたりして、リズム(拍子)、速度、旋律(音のつながり方やフレーズ)、強弱を知覚し・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシートに書く。</li> <li>○ 「荒城の月」について知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の特徴と歌詞の内容とを関わらせて歌う。</li> </ul>	【態①】ワークシートの記述・観察 【思①】ワークシートの記述・発言
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。</li> <li>○ 「荒城の月」と対比するなどして、「早春賦」のリズム(拍子)、速度、旋律、強弱を知覚・感受し、「早春賦」の曲想や歌詞の内容を味わい、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現を追求する。</li> </ul>	★【知①】ワークシートの記述 ○ 曲の雰囲気や表情、味わいなどが、どのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているのかを書いている。 ★【思①】ワークシートの記述・発言 ○ 感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、どのように歌いたいかについて、自分なりの思いや意図を書いている。

## ★「題材終了時の子供の姿」のポイント

- 目標や評価規準を踏まえ、具体的な学習や生活の場面での子供の姿となっていますか  
(文末は「～している(しようとしている)子供(児童生徒)」)
- 子供たちと共有できる表現になっていますか

今後の学習や実生活の場面で、学習したことを生かそうとする姿を想定して、書き表した例

- ㊦ 今後の学習や実生活の場面を示しています。
- ㊦ 本題材の学習内容、目標や評価規準を要約している言葉を示しています。
- ㊦ 「～しようとする」に、実生活の場面でのように生かしたり、活動したりしようとしているかを示しています。

## ★「本題材で働かせる見方・考え方」のポイント

- 題材を通した学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

題材を通した学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて(見方)、どのような考え方で思考していくか(考え方)を想定して、書き表した例

- ㊦ 教科等の特質に応じた見方に関する内容を示しています。  
(※音楽の場合は、音楽を形づくっている要素とその働きへの着目)
- ㊦ 教科等の特質に応じた考え方に関する内容を示しています。  
(※音楽の場合は、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること)